



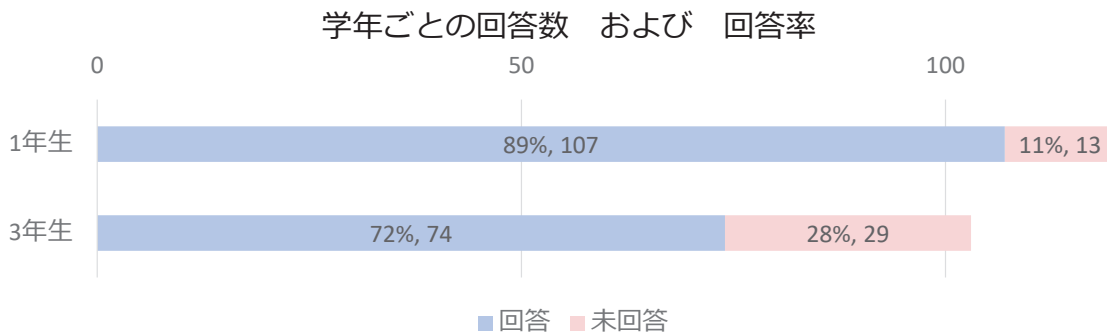
2025年度 学生実態調査の結果概要

(1・3年生向け)

福岡看護大学
教育支援・教学IR室

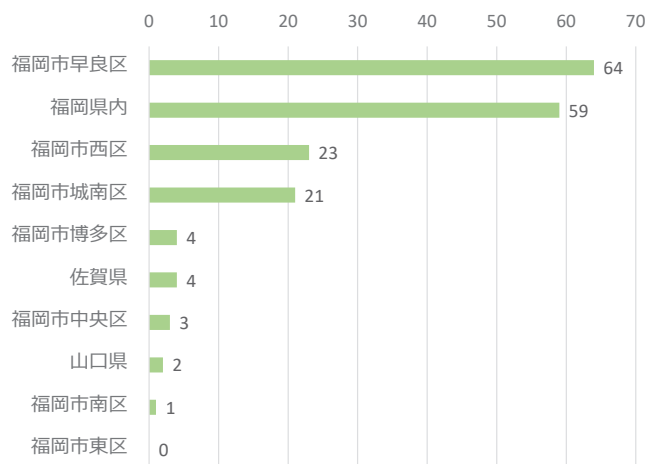
1. 回答者の概要

調査対象 1年生（120名）、3年生（103名） 合計 223名
※2年生・4年生はALCS学修行動比較調査2025にて調査
回答数 181名（回答率81%；うち1年生107名 3年生74名）
調査期間 2025/11/4～2025/12/8

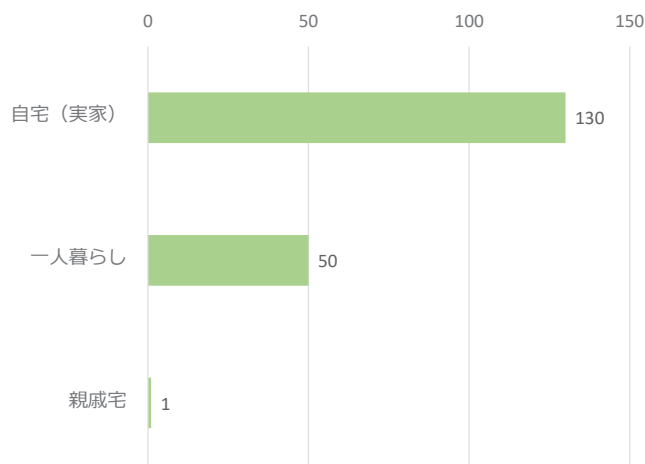


2.居住・通学

問1. 現在の居住地を教えてください。



問2. 現在の居住形態を教えてください。

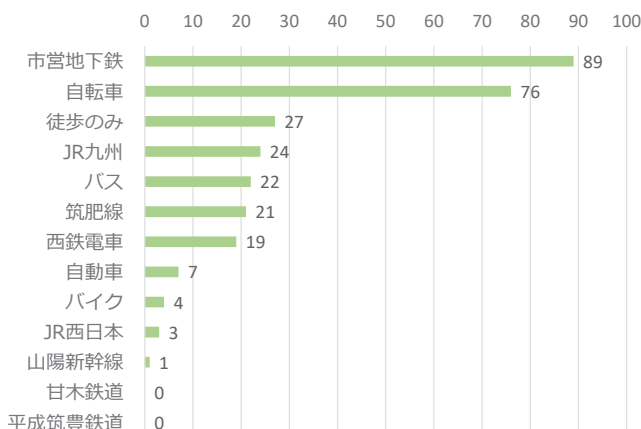


居住地は福岡市内が64%（2024年度は70%）を占めており、近隣の早良区が最も多い。少数であるが、山口県や佐賀県からの県外通学している学生もいた。居住形態は、実家が72%、一人暮らしは28%を占め、2024年度とほぼ同等の割合であった。

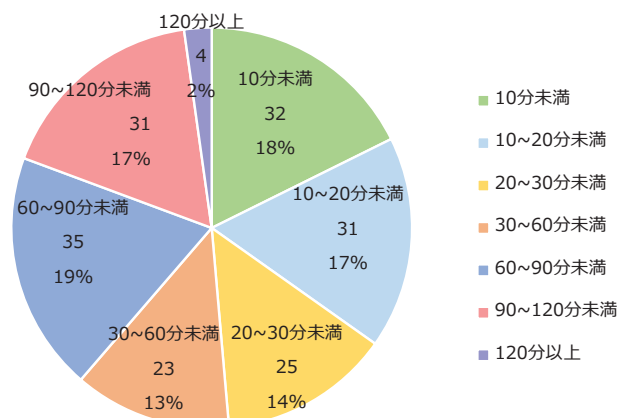
3

2.居住・通学

問3. 主な通学方法は何ですか。



問4. 片道の通学時間はどれくらいですか。



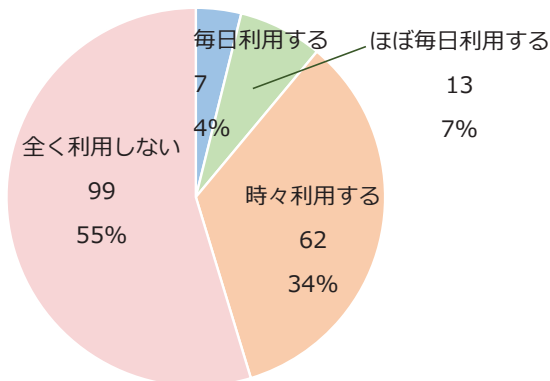
市営地下鉄と自転車の利用者がもっとも多かった。徒歩のみや、地下鉄以外の公共機関（JR九州・バス・筑肥線・西鉄電車など）の利用も一定数いた。

通学時間は、30分未満が約半数（約49%）を占めているが、60~90分未満（19%）・90~120分未満（17%）もついで多かった。30分未満の近距離が中心ながらも、90分以上の長距離通学（約19%）も一定数おり、通学時間は近距離と長距離に二極化していた。特に、90分以上の長距離通学者は2024年度より12%増えており、1年生の長距離通学者が増えていることが明らかになった。

4

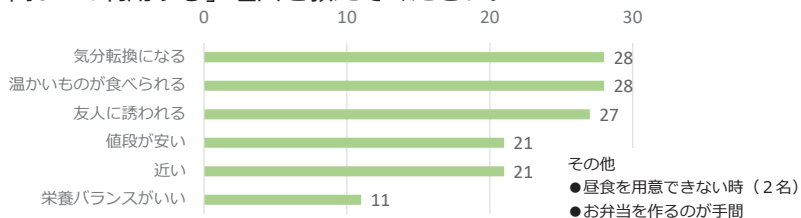
3.食生活関連

問5. 学園内の学生食堂「TOMATO」の利用状況について教えてください。

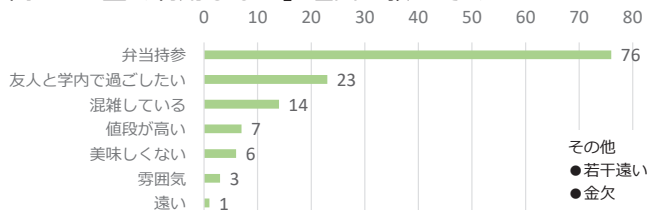


学生食堂「TOMATO」については、全く利用しない学生が半数以上を占めており、2024年度より12%多くなっていた。その主な理由として「お弁当の持参」「友人と学内で過ごしたい」が挙げられていた。一方で、利用している学生からは、温かいものが食べられるうに加え、気分転換・友人に誘われて利用する場面が多く、そうした機会が学食を利用する主な理由として挙げられていた。

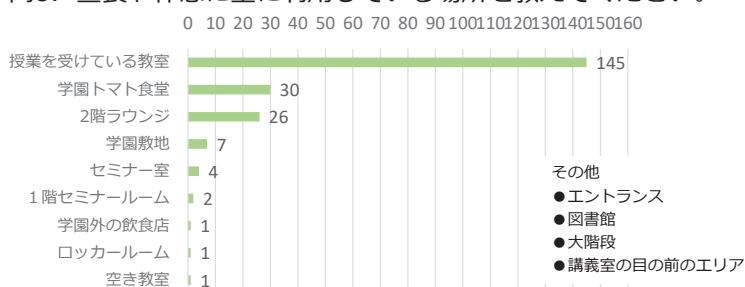
問6. 「利用する」理由を教えてください。



問7. 「全く利用しない」理由を教えてください。

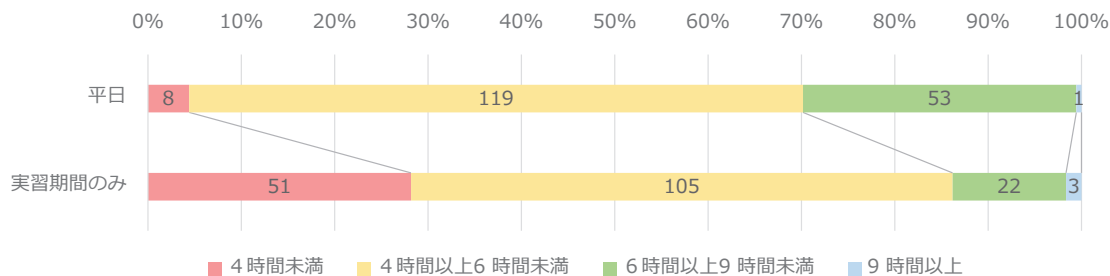


問8. 昼食や休憩に主に利用している場所を教えてください。



4.健康管理

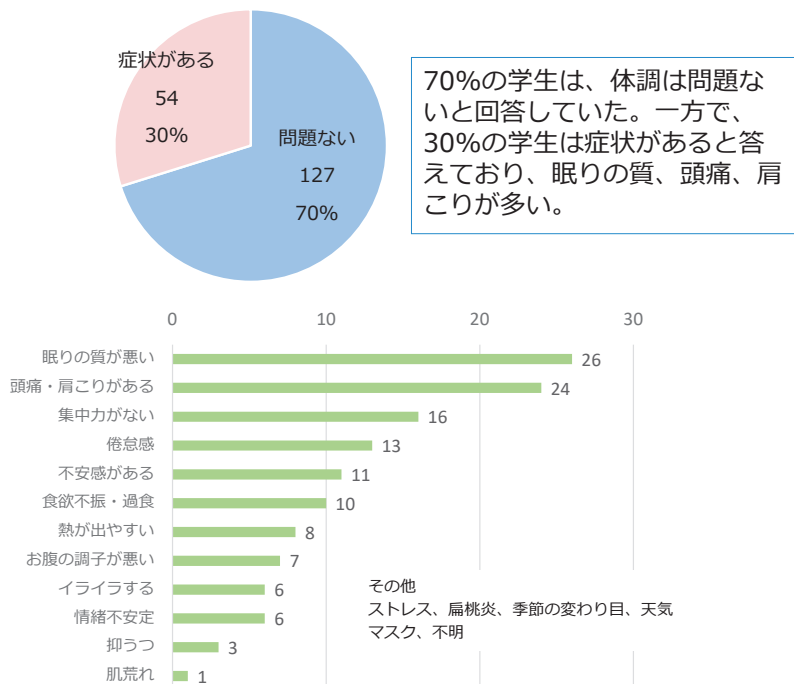
問9. 1日の睡眠時間は平均どれくらいですか (休日除く)



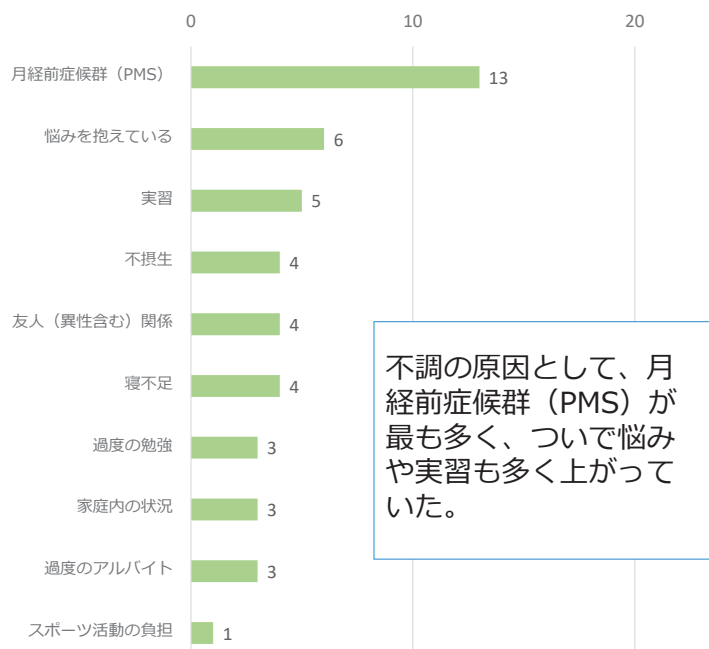
実習以外の平日では、6時間以上の睡眠を確保できているのは30%にとどまり、70%が6時間未満となっている。実習期間に入るとさらに睡眠時間が短くなり、6時間未満が87%、4時間未満が28%となっている。2024年度と比較すると、平日・実習期間ともに全体傾向はほぼ同等であったが、「実習期間のみ」の4時間未満の割合は6%減少していた。依然として、実習中はスケジュールの負荷が大きく、生活リズムが崩れやすい状況が続いている。

4.健康管理

問10. 最近の体調について教えてください。



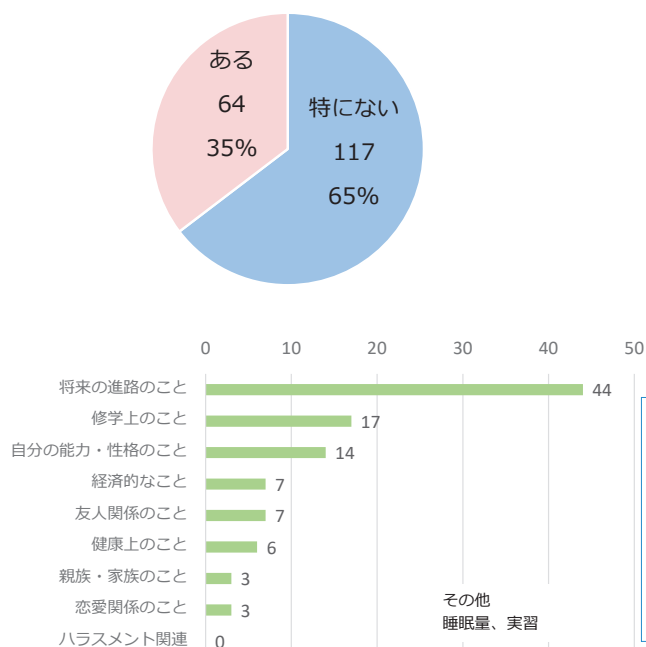
問11. 不調の原因を教えてください。



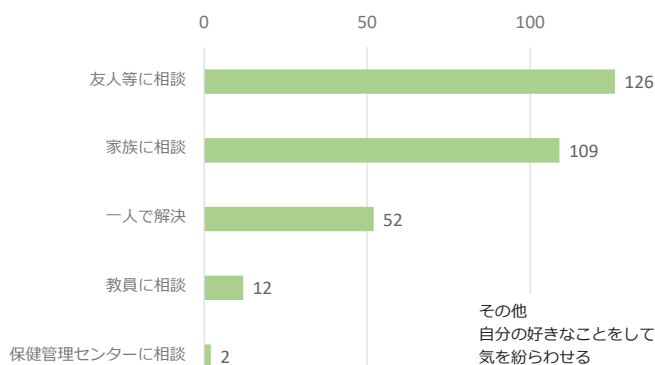
7

4.健康管理

問12. 現在、何か悩んでいることはありますか。



問13. 悩みの解消方法を教えてください。

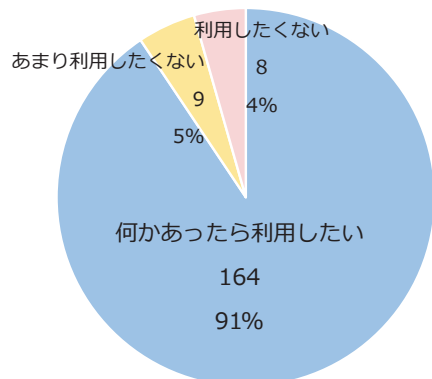


65%の学生が悩んでいることは特にないと回答し、悩みの要因として、将来の進路が一番多く、就学上のことや自分の能力や性格がそれに続き、2024年度とほぼ同等であった。悩みの解消方法は、友人・家族に相談が最も多く、次に一人で解決が挙げられ、例年と同様であった。教員・保健管理センターに相談という学生は減っていた。

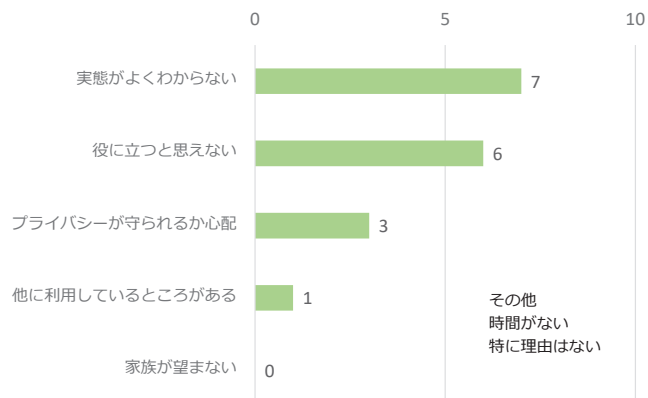
8

4.健康管理

問14. 保健管理センターの利用をしたいと思いますか。



問15. 「あまり利用したくない/利用したくない」と答えた理由を教えてください。

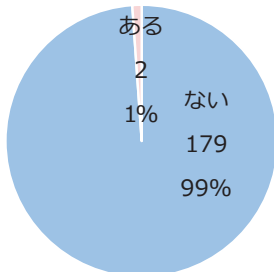


保健管理センターについて、多くの学生が何かあったら利用したいと答えていた。

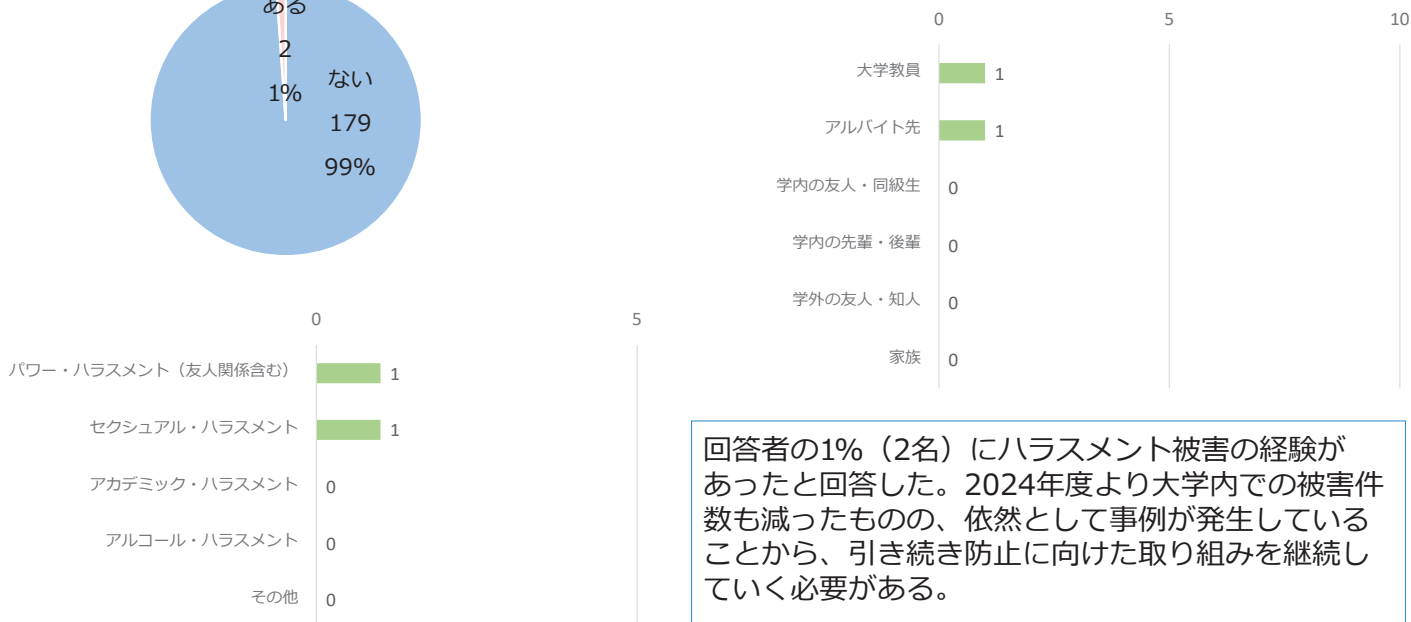
9

4.健康管理

問16. 大学在学中にハラスメントを受けた経験はありますか。



問17. 誰からハラスメントを受けましたか。
加害者の身分（属性）はどれですか

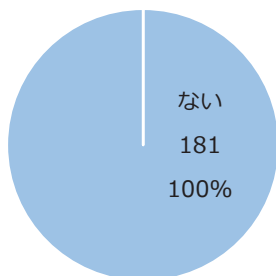


回答者の1%（2名）にハラスメント被害の経験があったと回答した。2024年度より大学内での被害件数も減ったものの、依然として事例が発生していることから、引き続き防止に向けた取り組みを継続していく必要がある。

10

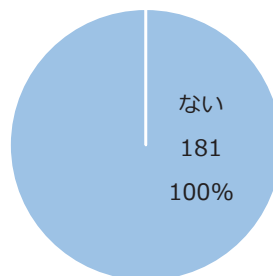
4.健康管理

問18. 学内で他人からセクハラやアカハラの被害にあっているのを見たり聞いたりしたことがありますか



学内でハラスメント被害を目撃したり、そうした話を聞いたり、ハラスメントに関する相談をしたと回答した学生はいなかった。

問19. ハラスメントに関する相談をしたことありますか。

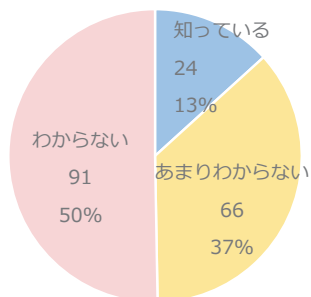


問20. 「ある」と答えた方は、どこに相談しましたか。

問19. 「ある」の回答が0件のため、割愛

4.健康管理

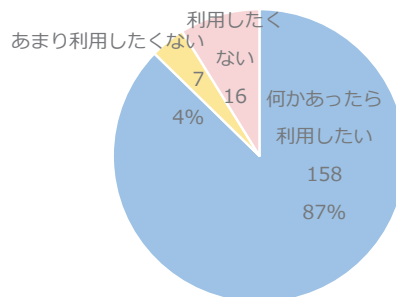
問21. ハラスメント相談員の利用方法を知っていますか。



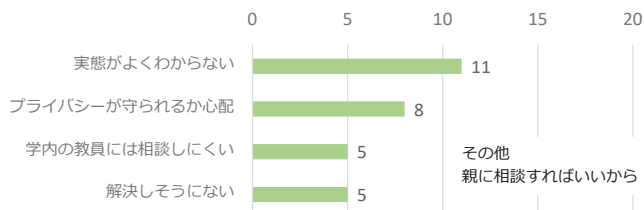
ハラスメント相談員の利用方法を「知っている」と回答した学生は13%にとどまっており、過去の調査でも10%~15%で推移している。

利用したくない理由として「実態がわからない」という回答が多く、今後も継続的な周知と理解促進が必要であると考えられる。

問22. ハラスメント相談員の利用をしたいと思いますか。

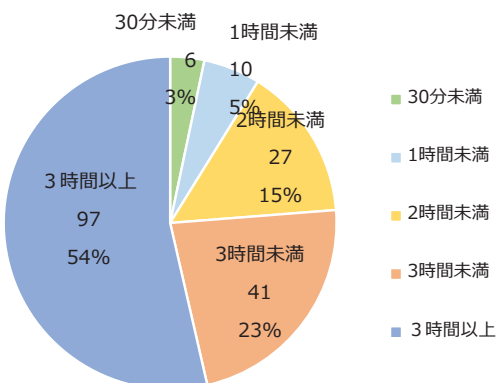


問23. 「あまり利用したくない/利用したくない」と答えた理由を教えてください。

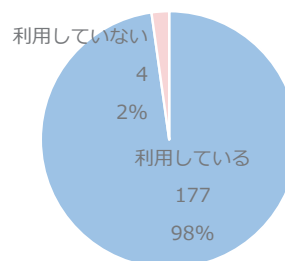


4.健康管理

問24. 勉学・研究以外の目的でインターネット（スマホ）を使用する1日当たりの時間を教えてください。



問25. SNS の利用状況を教えてください。

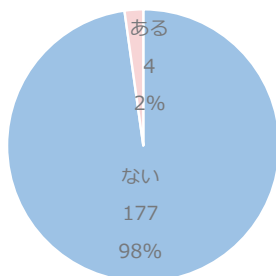


1日当たり、3時間以上を勉学・研究以外の目的でインターネット（スマホ）に費やす学生が半数以上である。また学生のほぼ全員がSNSを利用しており、利用時間はわずかではあるものの毎年増加傾向にある。

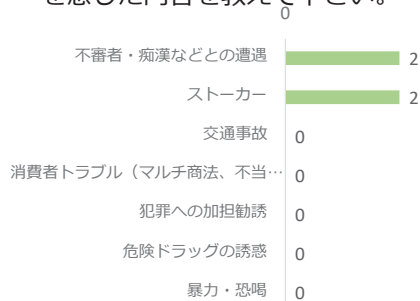
13

4.健康管理

問26. 身の危険・犯罪的勧誘などを感じた経験はありますか。



問27. 「ある」と答えた方は、身の危険・犯罪的勧誘などを感じた内容を教えてください。

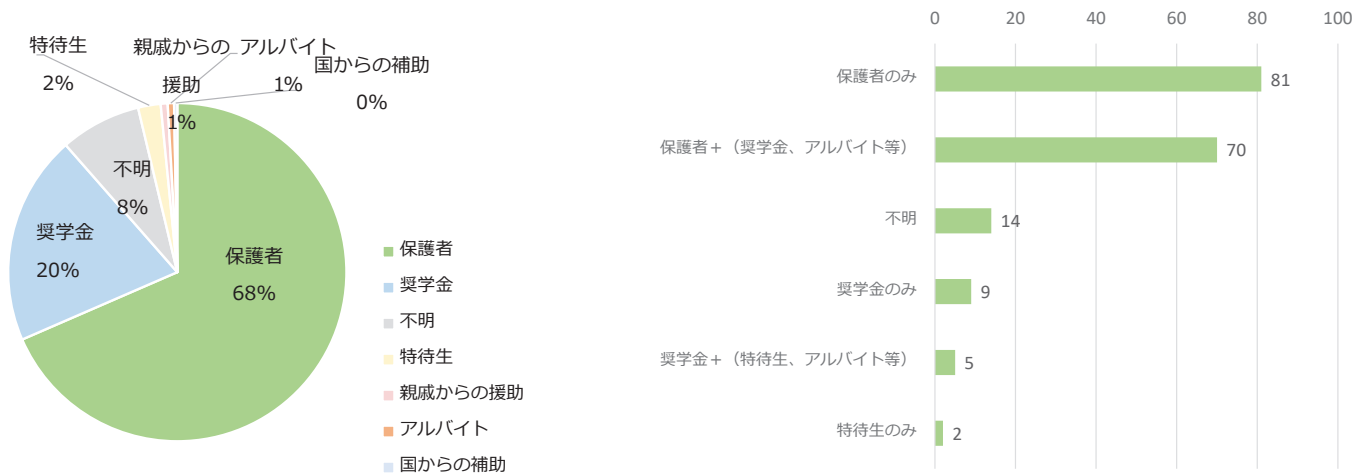


2%（4名）の学生が、不審者・痴漢などとの遭遇（2名）、ストーカー（2名）の経験があると答えている。本学は女子学生の割合が高いこともあり、日常で実践しやすい自己防衛方法や、学内外の相談窓口に関する情報については、継続的に周知していく必要があると考える。

14

5.経済的事項

問28. 学費のおおよその負担割合 (%) を教えてください。

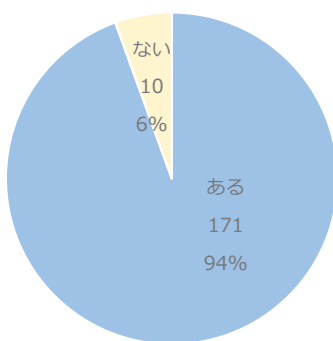


学費の負担割合は保護者が一番多く、ついで奨学金の割合が多い。

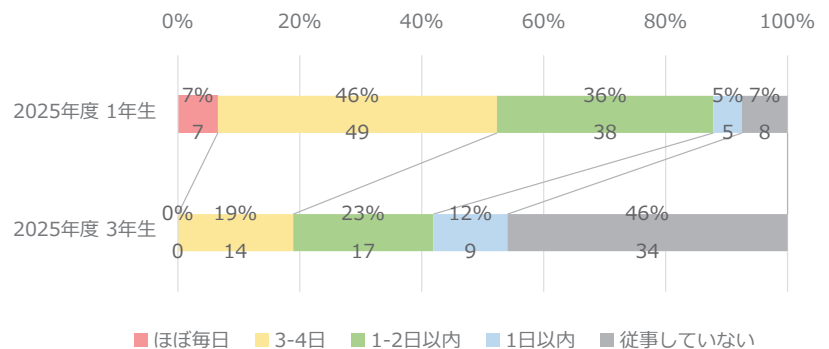
15

5.経済的事項

問29. 大学入学後にアルバイトの経験はありますか。



問30. 最近の学期期間中のアルバイトの頻度はどのくらいですか。(週当たりの日数)

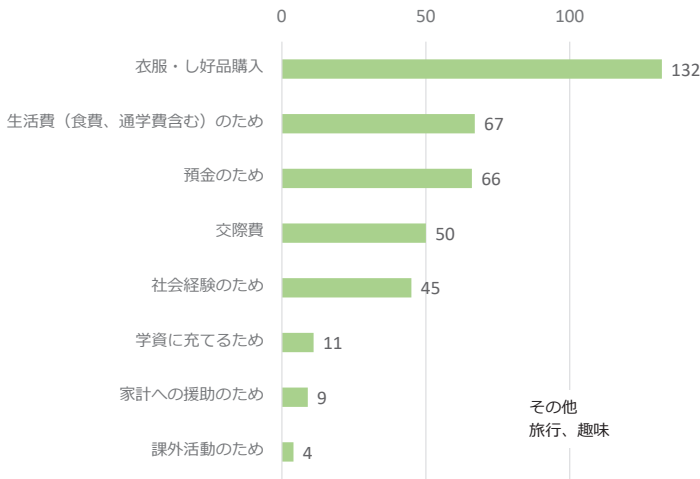


94%の学生はアルバイトの経験があると回答し、ほとんどの学生が何らかのアルバイト経験があることがわかる。学期間中のアルバイト頻度を見ると、1年生では「週3~4日」「週1~2日」が一番多いが、一方、3年生では「従事していない」と回答した割合が46%と最も高く、3年生になると授業や実習の忙しさからアルバイトを控える傾向が示唆される。

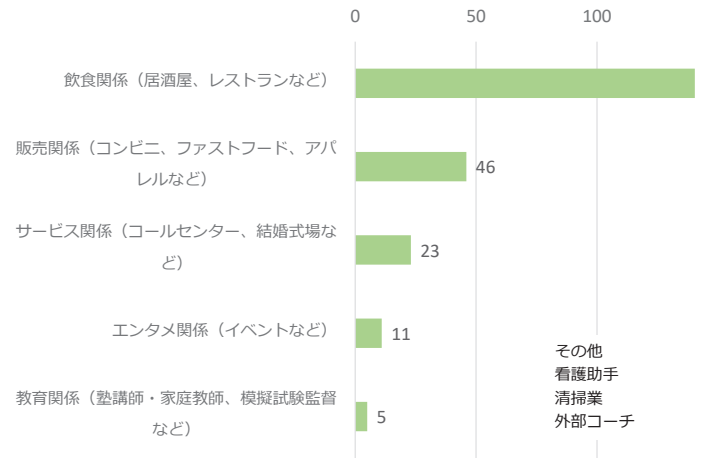
16

5.経済的事項

問31. アルバイトをする理由はなんですか。



問32. 大学入学後に経験したアルバイトの職種は何ですか。



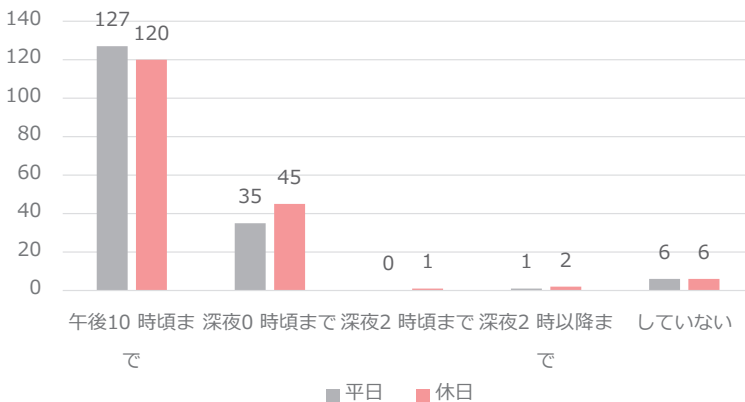
アルバイトの目的は、衣服嗜好品の購入が最も多く、生活費、交際費という回答が続き、例年と同様であった。

職種では飲食業が圧倒的に多く、次いで販売業が多い傾向が見られた。

17

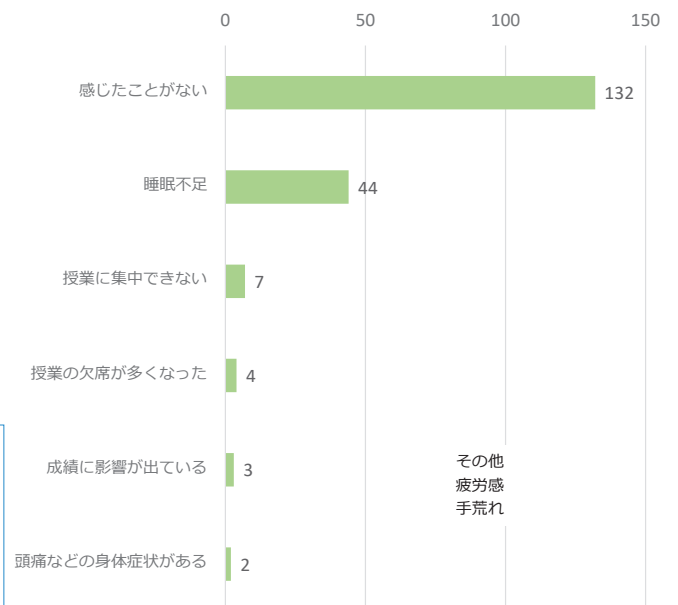
5.経済的事項

問33. アルバイトの平均的な終了時間はいつですか。



アルバイトの終了時間は、平日・休日とも同様に、午後10時頃までという回答が約7割を占めた。2024年度と比較すると、深夜0時までの学生が微増し、していない学生が減少した。2割（39名）は睡眠不足を感じ、修学への影響を自覚する回答もあった。

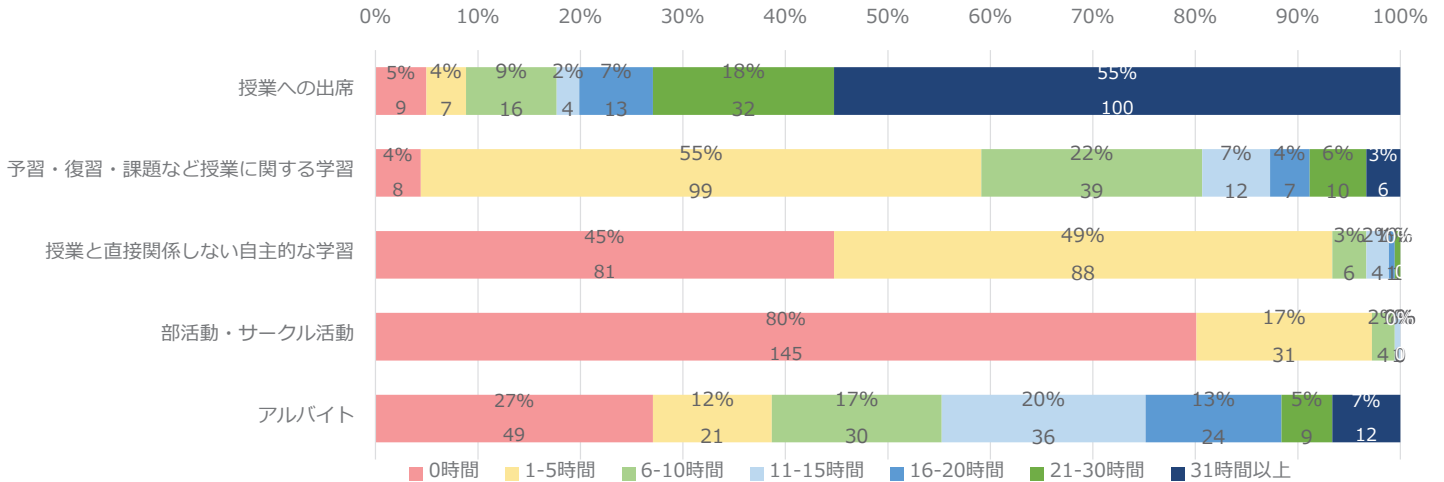
問34. アルバイトで学業や生活に支障を感じたことがありますか、またそれはどんなことですか。



18

6. 大学生生活

問35. 今年度の後期授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか？

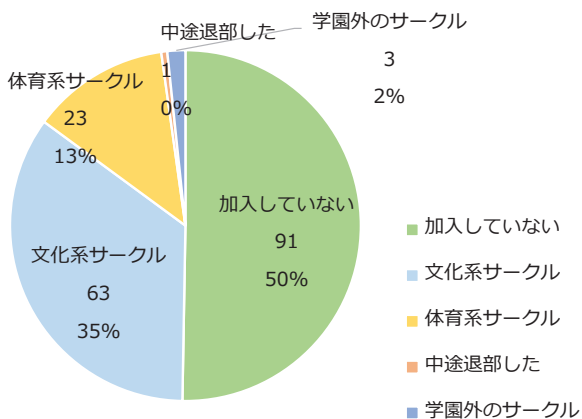


授業への出席は「31時間以上」の回答が最も多く、学習関連の時間（予習・復習）は「1～5時間」「6～10時間」に集中している。一方で、授業と直接関係のない自主学習は「0時間」が4割を超えており、授業関連学習には一定の時間が割かれているが、自主学習時間は少ない傾向にある。部活動・サークル活動は「0時間」が約80%と圧倒的で、活動率は低い。アルバイトは「0時間」が49件にとどまり、「11～15時間」「16～20時間」など週に複数日働く学生も一定数存在する。

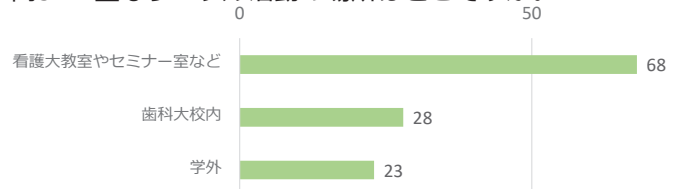
19

6. 大学生生活

問36. サークル（課外活動）への参加状況を教えてください。（歯科大サークル含む）



問37. 主なサークル活動の場所はどこですか。



問38. サークル活動に関する要望があれば、教えてください。

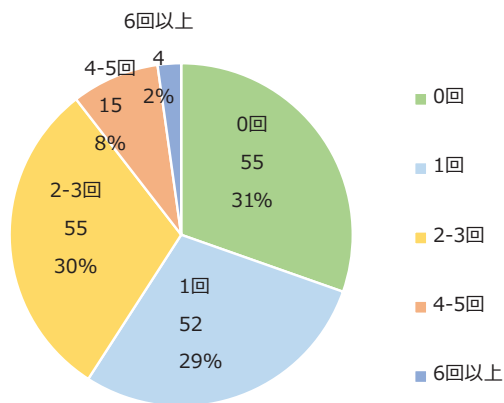
- ・もっと活動を増やして欲しい。学祭を歯科大のサークルメインで行っているが、看護大でもサークルに参加しているほぼ全員が参加できるようにしてほしい。自分たち、周りの人達が学園祭に出席する必要が全くないため、行かないまま卒業しそう。大学生として楽しめたかったイベントが楽しくない。
- ・サークルの作り方を知りたい。
- ・体育館が欲しい
- ・途中からサークルに参加したいのですが、誰に言えば良いかわからないので、掲示板に張り紙などを貼っていただきたいです。

サークルに参加している学生は48%であり、2024年度より約20%増加している。活動場所は学園内が中心で、体育館の利用希望の要望があった。また、サークルの立ち上げや加入方法に関する情報提供を求める声があり、学内掲示やポスターによる案内が必要であると考えられる。

20

6.大学生活

問39. 大学入学後のボランティア活動の経験を教えてください。

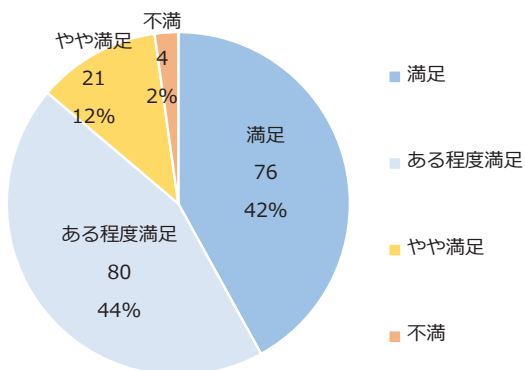


約70%の学生が大学入学後にボランティア活動を経験している。本調査対象は1年生も含まれるため、未経験者も一定数存在するが、学年が進むにつれて参加率はさらに高まる可能性がある。活動回数は「1回」または「2～3回」が最も多く、4回以上の複数回経験者は約10%存在する。

21

6.大学生活

問40. 大学ポータルサイトの満足度を教えてください。



問41. ポータルサイトに関する要望があれば教えてください。

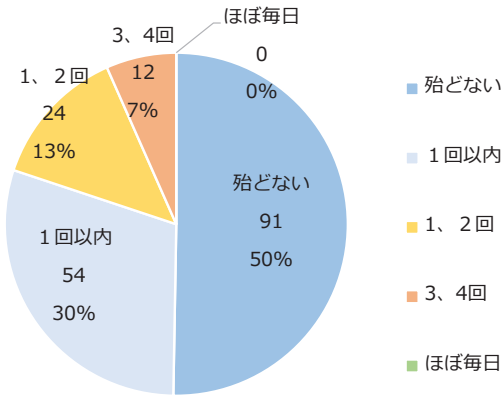
- ・文字が小さくて見にくい（3名）
- ・スマホで見ると小さくて操作しづらい。（2名）
- ・アプリ化して時間割をウィジェットで見れるようにしてほしい
- ・わざわざSafariなどから開くのが手間大学のアプリなどを作って欲しい
- ・ログインを求められるのが負担に感じる

ポータルサイトに対する満足度は86%が概ね満足しており、2024年度よりやや向上している。一方で、一定数の不満を持つ学生も存在し、特にスマートフォンでの操作性に関する不満が多い。要望としては、文字サイズの改善、アプリ化などによる利便性向上が挙げられる。

22

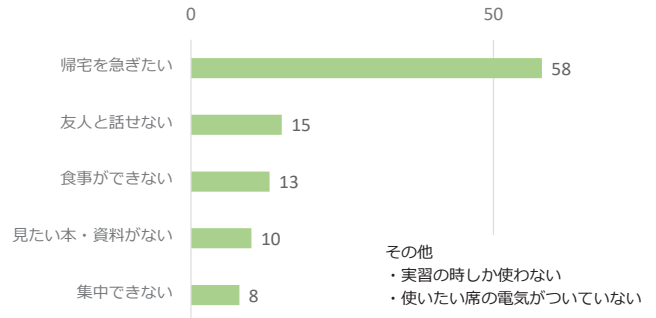
6.大学生生活

問42. 学習目的での図書館の利用頻度について教えてください。(週当たり)

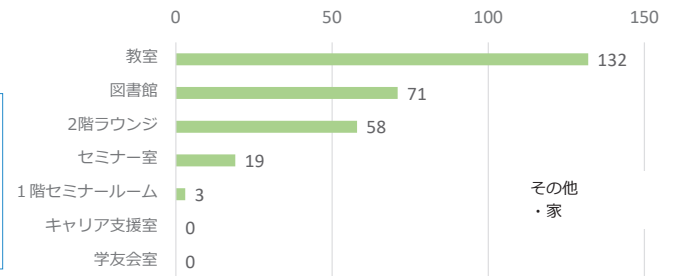


学習目的で図書館を利用している学生は約50%で、利用頻度は週1回以内が中心である。利用しない理由として「帰宅を急ぎたい」が最も多く、遠方から通学する学生が多いことも要因として考えられる。学習スペースとしては教室が最も多く利用され、次いで図書館や2階ラウンジが選ばれている。

問43. 図書館をあまり利用しない理由を教えてください。



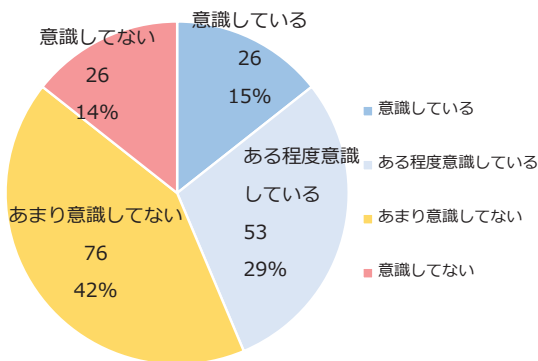
問44. 学習のためによく利用する学内スペースを教えてください。



23

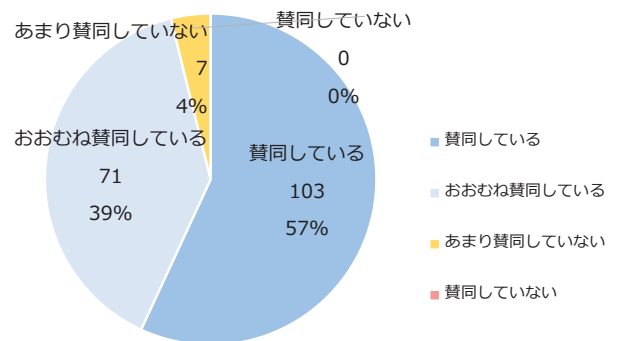
6.大学生生活

問45. SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の“目標13: 気候変動に具体的な対策”を意識して生活していますか？

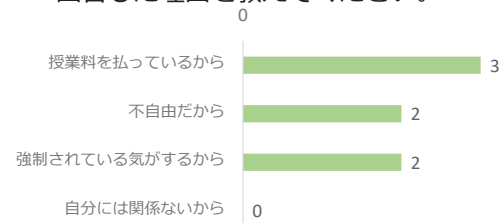


SDGsの目標13については、意識の有無の割合は2024年度と同様な割合であった。SDGsを意識した大学の節電について、賛同している/概ね賛同しているは96%を占め、年々増加しており、学生の理解が進んでいる。

問46. SDGsを考えた大学の節電についてどう思いますか？



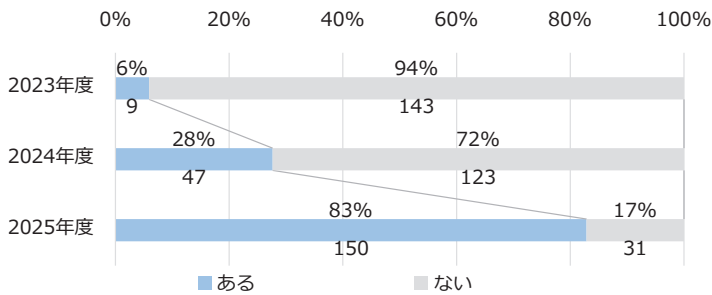
問47. 「あまり賛同していない/賛同していない」を回答した理由を教えてください。



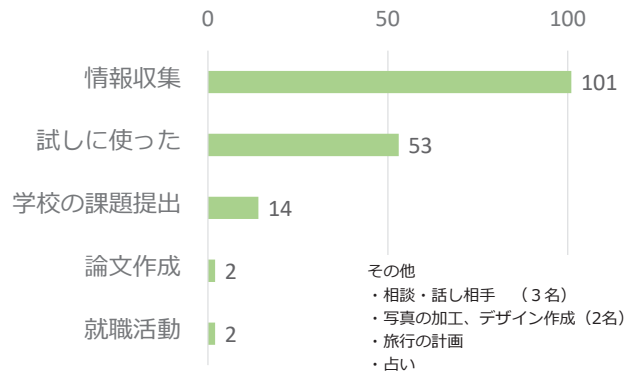
24

6.大学生活

問48. テキストや画像などを自動的に生成できるChatGPTなどの生成AI（人工知能）を利用したことがありますか？



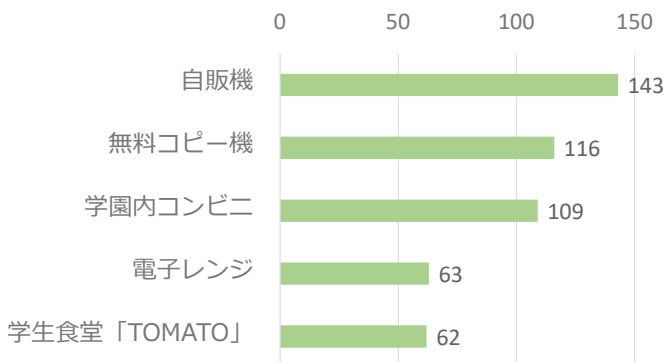
問49. 「ある」と答えた方は、どういう目的で使用しましたか？



生成AIの利用は急速に拡大しており、2023年度の6%から今年度は83%へと大幅に増加している。利用目的は2024年度まで「試しに使った」が中心だったが、今年度は情報収集や文章作成など実務的な活用が目立つようになってきた。今後生成AIの利用が加速していく中で、利用者側のリテラシー向上と適切なルール遵守が課題となっている。

6.大学生活

問50. 大学内の福利厚生設備の利用状況について教えてください。使用しているものを選択してください。



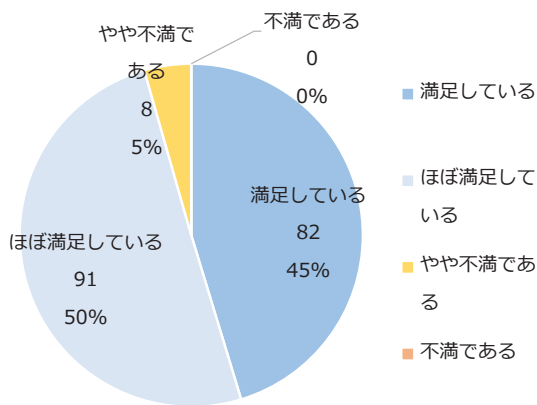
問51. 大学内に希望する設備とその理由を教えてください。(任意記述)

- ・購買、売店 (3名)
- ・トイレの流れを強くしてほしい (2名)
- ・給水機
- ・101の机の引き出し
- ・コピー機のインク
- ・生徒も使えるエレベーター
- ・トレーニングルーム

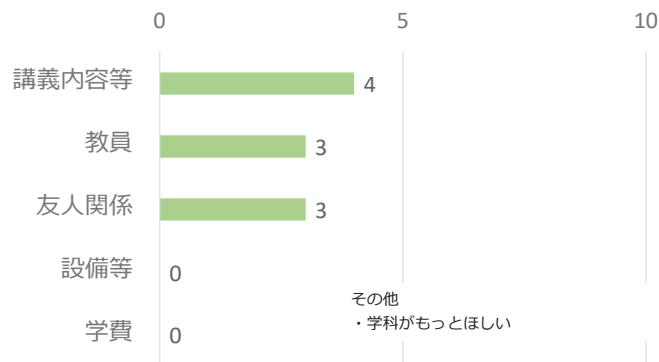
大学内の福祉厚生設備では、自販機の利用が最も多く、次いで無料コピー機・学内コンビニである。電子レンジや学生食堂の利用はやや少なく、60件前後にとどまる。その他の自由記述に関しては、検討を要する。

7.教育内容

問52. 入学後、現在の学部(学科)・研究科に満足していますか



問53.現在の学部（学科）・研究科に満足できない場合、その理由は何ですか

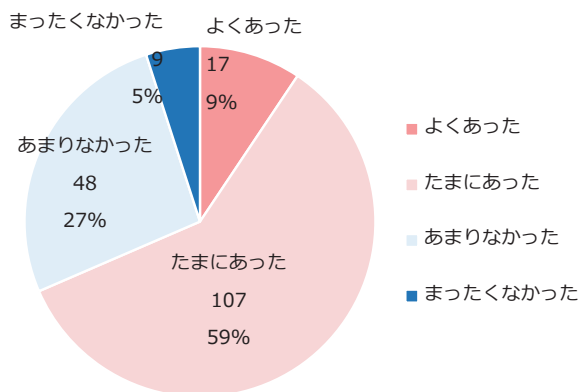


回答した学生の95%が現在の学部・研究科に満足しており、「不満である」という強い否定的回答は見られなかった。2024年度より満足度は改善している。不満の理由としては、講義内容、教員、友人関係が挙げられていた。

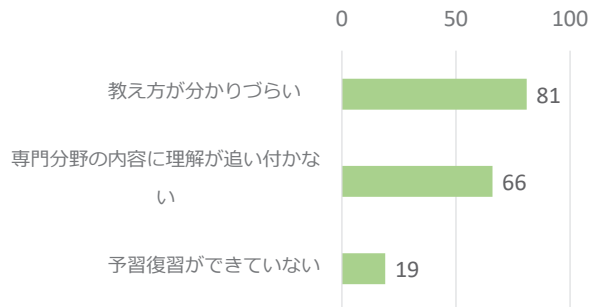
27

7.教育内容

問54. 大半の内容が理解できなかった授業はどれくらいありましたか。



問55.授業の内容が理解できなかった授業に対して当てはまるのは何ですか

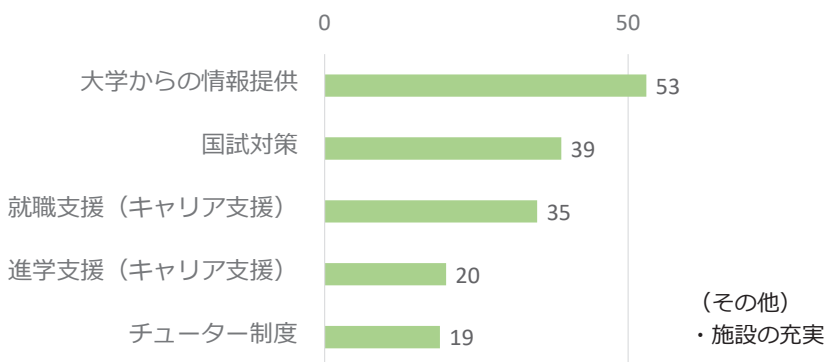


大学の内容が理解できなかった授業について、「よくあった」と回答した学生は9%、「たまにあった」を含めると68%に達しているが、2024年度より6%減少している。理解できなかった理由としては「教え方が分かりづらい」が最も多く、次いで「専門内容が難しい」「予習復習ができていない」が挙げられる。

28

8. 大学への改善希望

問56. 大学からのサービスについて、充実・改善してほしいものはどれですか



大学からのサービスで充実・改善を求める項目として、最も多かったのは「大学からの情報提供」であり、全体の約29%を占めている。次いで「国試対策」「就職支援（キャリア支援）」が挙げられ、学生の将来のキャリア形成を支援する取り組みに対する要望も高い。例年通りの傾向であるが、情報提供の遅さに強い不満を示す意見が目立ち、タイムリーな情報発信が課題となっている。